

令和5年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・デジタル教材やALTを活用し、十分に音声を聞かせ、インプット量を多くしたことで、学習が定着した。
- ・場面に応じてどのような工夫が必要かを考えさせることで、学習したことを生かしながらかん話できるようになった。
- ・単元のゴールを提示することで、見通しをもって活動できた。

(2) 課題

- ・学習した表現を使って、様々な表現に応用することが難しい。
- ・会話の中で、学習した表現を生かしながらかん返事を返すことが難しい。
- ・学習したことを、生活の中で、具体的にどのように活用したいかという思いがあまり見られない。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	/	/	/
第5学年	/	/	/
第6学年	平均正答率は、全国平均と比べ、0.8ポイント下回っていた。国語・社会・算数・理科の4教科は、全て全国平均を上回っていたため、他教科と比べ、英語の学習に課題があるといえる。領域別に見ると、「聞くこと」は2.5ポイント、「読むこと」は1.6ポイント全国平均を上回っていた。しかし、「書くこと」は、6.0ポイント全国平均を下回っており、課題があると言える。	/	/

(2) 分析 (観点別)

① 第5学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○既習事項の理解に個人差が見られる。</p> <p>○自分のことについて伝える表現 (好きなこと、持っているもの、誕生日、できることなど) の音声に慣れ親しみ、会話の中で使うことができている。</p> <p>○アルファベットに関しては、音と文字は一致している児童が多いが、書く位置が正確でない児童がいる。</p>	<p>○学習した表現や新たに学習した言葉や表現を使って、内容や順番を考えたり、相手に伝わるようにする工夫を考えたりして、自己紹介ができる。</p>	<p>○学習にすすんで取り組む児童が多い。</p> <p>○振り返りで、気付いたことや考えたことを書ける児童が少ない。</p>

② 第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○正答率が、区内より 0.6 ポイント、全国より 0.1 ポイントを上回っているため、概ね良好であると言える。</p> <p>○聞こえた音声を大文字・小文字で正しく書く問題に関しては、正答率が全国より 11.0 ポイント下回っており、課題がある。</p>	<p>○正答率が、区内より 1.9 ポイント上回っているが、全国よりは 2.3 ポイント下回っている。</p> <p>○英文を完成させる問題・英作文の問題の正答率が、全国より 5.6 ポイント下回っており、課題がある。</p>	<p>○正答率が、区内より 1.5 ポイント上回っているが、全国よりは 5.3 ポイント下回っており、課題がある。</p> <p>○「主体的に学習に取り組む態度」について測定する問題が「思考・判断・表現」のを測定する問題と全て同じだった。そのため、「思考・判断・表現」の力を付け、問題に取り組む姿勢を身に付けさせる必要がある。</p>

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第5学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○既習事項や新出表現などを理解できるよう、デジタル教材やALTを活用し、十分に音声を聞かせる。</p> <p>○日常生活に関する身近で簡単な事柄について自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、相手に聞いた</p>	<p>○友達とやり取りしたり、発表したりする時に、相手意識をもって伝え合うことができるように、場面に応じてどのような工夫が必要かを考えさせ、表現できる力を高められるようにする。</p>	<p>○振り返りを書く視点を与えたり、学習のどこを深く考えればよいか、どこに気付きが隠れているかを提示したりし、主体的に学習に取り組めるようにする。</p>

<p>りすることができるように、対話を増やし、話すことへの抵抗感をなくしていく。</p> <p>○アルファベットは、学習の単元の中に取り入れるようにして、段階的に定着できるようにする。</p>		
--	--	--

(2) 第6学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○既習事項や新出表現などを理解できるよう、デジタル教材やALTを活用し、十分に音声聞かせる。その上で、表現を書き写したり、聞き取ったアルファベットを書いたりする課題を用意し、授業に取り入れるようにする。</p>	<p>○英文を完成させたり、教科書を見ながら英作文をしたりする課題を用意し、授業に取り入れるようにする。</p> <p>○友達とやり取りしたり、発表したりする時に英文を意識させる。また、相手意識をもって伝え合うことができるように、場面に応じてどのような工夫が必要かを考えさせ、表現できる力を高められるようにする。</p>	<p>○振り返りを書く視点を与えたり、学習のどこを深く考えればよいか、どこに気付きが隠れているかを提示したりし、主体的に学習に取り組めるようにする。</p>